

総務建設常任委員会協議会会議録	
1 開会日	平成23年1月13日 午前 9時30分 開会 午後 3時51分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席委員	高橋英俊委員長 三澤龍夫副委員長 山口陽一委員 清水弘子議員 百瀬恵美子委員 坂田よう子委員 山田喜一議長
4 傍聴議員	鈴木京子議員 奥津勝子議員 浅輪いつ子議員 竹内恵美子議員 土橋秀雄議員
5 説明員	町長 中崎久雄 副町長 吉川重雄 二梶木建設課長 青木副主幹 近藤主任技師 木村主査 鈴木総務課長 佐野主幹 宮崎主査 佐藤主任主事 矢野都市計画課長 竹内副技幹 小嶋副主幹 豊田主査 小瀬村主査 今井主査 岩本財政課長 宮代副主幹
6 職務のため出席した職員	局長 飯田 隆 書記 岩田隆吉
7 協議等の事項	(1) 大磯町公共下水道中期ビジョン（素案）について (2) 大磯駅前洋館の保全活用について (3) 町長、副町長及び教育長の給与削減のための条例改正について (4) 指定管理者（大磯運動公園）の指定について (5) 大磯町バリアフリー基本構想について (6) その他
8 その他	

(1) 大磯町公共下水道中期ビジョン（素案）について

10年間（平成23年度～平成32年度）で重点的に実施する公共下水道事業の総合的な計画である大磯町公共下水道中期ビジョン（素案）の概要の説明があった。

◎主な質疑

問. 老朽化に対する維持管理の町の考えは。また合併浄化槽とこの計画との関係は。

答. 大磯町の公共下水道整備開始は平成2年度であり、古いもので布設後20年を経過しており、今後、管について浚渫、カメラによる現況把握などを行っていく必要があるが、大規模な維持管理作業にはまだ時間があると考えている。合併浄化槽の区域については全体計画の見直しの中で考えていく。

問. 下水道の料金改定と都市計画税との関係は。また未接続世帯への対応は。

答. 下水道使用料は下水道の維持管理にあてるために徴収。都市計画税は施設整備にあてるための目的税。未接続世帯には職員が個別に訪問して接続を依頼している。

問. 計画人口と総合計画の人口と離れているがその理由は。

答. 相模川流域下水道全体計画の見直しを行っており、今の総合計画の人口に合わせるように県と調整を行っている。

(2) 大磯駅前洋館の保全活用について

町で検討を行った大磯駅前洋館の保全活用についての報告があった。また、報告の後、現地を視察した。

◎主な質疑

問. 登録有形文化財を考えているか。また耐震性は大丈夫か。

答. 候補にはあがっている。関東大震災で被害を受け補修を行っているが、耐震性の調査は検討をしていきたい。

問. 今後発足する民間検討委員会と町の検討結果との関係は。

答. 民間検討委員会は、町の検討結果をたたき台にして検討していただき、年度内に方向性をまとめもらう。具体的な活用策の実施に移るのには6カ月ぐらいの期間が必要だと考えている。

問. 防火対策は。

答. 火災保険に入っている。警備は機械警備となっている。

(3) 町長、副町長及び教育長の給与削減のための条例改正について

町長、副町長及び教育長の在任中に係る給料月額等を2分の1削減する条例改正についての説明があった。

◎主な質疑

問. 2本の条例を1本で提案する理由は。

答. 町長選挙の公約の中で三役の歳費等を2分の1カットすることを掲げているため。また、2月、3月分の支給率を100分の90カットをする調整措置は、不利益不遡及には抵触をしないと考えている、

(4) 指定管理者（大磯運動公園）の指定について

大磯運動公園の指定管理者の指定（平成23年度から5年間）に関する経過や選定結果等の説明があった。

◎主な質疑

問. ランナーズ・ウェルネスの実績は。

答. 指定管理の実績はない。湘南国際マラソンなどの事業を行っている。

問. 選定に町民参加がないが。

答. 今後は町民の意見を聞くようにしていきたい。

問. 申請3団体の会社概要の議会への提供の考えは。

答. 指定管理者候補者の会社概要は用意をしたい。

問. 運動公園が指定管理者のイベントの舞台に利用され、町民の利用の妨げになる恐れはないか。

答. 常時イベントを行っていく中で、当然、町民の方の参加も可能であり、町外の方も含めて幅広く事業を展開していく予定である。

問. 広告料は。

答. スポンサーから広告料を取るという話しはあった。

※町長から町民参加により再度選考をやり直す予定であることを候補者に報告をし、指定管理者の指定に係る議案は取り下げたいとの話があった。

(5) 大磯町バリアフリー基本構想について

大磯町バリアフリー基本構想（素案）の概要の説明があった。

◎主な質疑

問. 策定前に議員全員に説明をしてもらいたいが。

答. 議員全員協議会等で説明をする。

問. 学校関係者が委員に入っていないが。

答. アンケートは乳幼児を持つ親にも行い、町歩きにはPTAの方も参加をしている。

問. この計画実現のための予算は。

答. 整備のための補助金を獲得するためには、基本構想の策定が前提となる。

(6) その他

ア NCR跡地の動向について

NCR跡地の開発計画に関する経過等の説明があった。

◎主な質疑

問. 道路の後退はどのぐらいか。また、バイパスへの道はどうなるのか。

答. 開発区域に接する町道は一方後退の6 mである。現道が4 mあるので2 mの後退である。現況のままである。

問. 道路に関して、まちづくり条例を改正していく必要があるのでは。

答. 既存不適格のこともあり、すぐにはできない。検討をする。

問. ここの雨水は大丈夫か。

答. 宅内浸透で指導をしている。また公園に調整池を設ける。

問. ごみ置き場の記載がないが。

答. 記載もれである。

問. 住民説明会の開催看板の複数設置、説明会場を1カ所で、議会にも開催について知らせてもらいたいが。

答. 看板は事業者に伝える。会場は協議が必要である。議会事務局に知らせる。